

第2章 東静岡駅周辺のまちづくり

1 目指す姿

当地域の「陸の玄関口」にふさわしい「文化とスポーツの殿堂」

世界の宝「富士山」をアイデンティティの源とする一体的な地域づくりの中心である日本平山頂から三保松原に広がる地域の「陸の玄関口」となるのが、東静岡駅周辺です。

当地域は、富士山を借景とし、霊峰から導き出される多様な価値を実感できる美しく風格あるまちづくりを進めることが求められます。また、周辺に集積する「学術、文化・芸術、スポーツ」施設との相乗効果を生む地域の拠点として、若者をはじめとする多彩な人々を魅了し、多様な交流と賑わいを生み出す「文化とスポーツの殿堂」の形成を目指します。

2 まちづくりを進める視点

(1)当地域の「陸の玄関口」にふさわしい美しく風格あるまちづくり

- ・富士山をアイデンティティの源とする地域の玄関口であり、この地域が有する「学術、文化・芸術、スポーツ」などの高い文化力を実感できる美しく風格あるまちづくりを進める視点が重要です。

(2)“ふじのくに”の新たな拠点として賑わいを生み出すまちづくり

- ・この地域で学ぶ約1万7千人の学生をはじめとする若者による賑わいの創出に加え、東静岡駅周辺地区を地域の玄関口として、国内外から多彩な人々を呼び込み、多様な交流と賑わいを生み出すまちづくりを進める視点が重要です。

(3)東静岡駅南北一体の統一感あるまちづくり

- ・東静岡駅の南北に跨る「文化とスポーツの殿堂」の形成に当たっては、南北を快適に移動できる歩行者空間の整備や、デザイン、景観の一体的なコーディネートなど、駅南北の統一感あるまちづくりを進める視点が重要です。

3 まちづくりのあり方

(1) 「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいたまたまの創出

①国内外に誇る“ふじのくに”の魅力を発信するイベント・コンベンション等の舞台

<ポイント>

○「静岡」を世界に売り込むイベント・コンベンションの継続的開催

- ・この地域が持つ「場の力」を活かして、国内外の人々が集うイベント・コンベンション等を継続的に開催し、「“ふじのくに”静岡」を世界に発信していく戦略は、大変有効です。
- ・東静岡駅周辺には、こうしたイベント・コンベンション等の開催舞台として、会議場、展示・イベントが可能な施設や広場などの機能、コンベンションを支える機能を備えることが重要です。

表3 「“ふじのくに”静岡」を売り込むイベント・コンベンションの例（イメージ）

| イベント・コンベンションの種類 | 静岡の持つ「場の力」 |
|-------------------------|--|
| 富士山をはじめ世界の名山をテーマとした会議 | ・世界遺産富士山を望む最高の「場の力」の活用 |
| 「食」と「健康」をテーマとした「ビオ静岡」会議 | ・日本一の農林水産物 ・健康寿命日本一 |
| アニメ・漫画等のコンテンツ関連のイベント | ・静岡を舞台とした世界的な人気コンテンツ（ちびまるこちゃん、キャプテン翼など） ・ガンダム等アニメキャラクターの模型メーカーが集積 |
| 舞台芸術の世界フェスティバル | ・世界的に評価の高いSPACの活動拠点 |
| オーケストラなど音楽公演 | ・ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）への加盟（浜松市） |

②学術、文化・芸術、スポーツ集積エリアへの玄関口

<ポイント>

○玄関口として備えるべき情報発信や結節点の機能

- ・富士山を仰ぐ最高の「場」である日本平をはじめ、当地域が有する「場の力」を情報発信する機能が必要です。海外から訪れる多彩な人々の満足度を高めるためには、ユニバーサルデザインの視点を持ってまちづくりを進める必要があります。
- ・日本平及び三保松原に広がる多様な施設の玄関口となる当地区は、円滑な移動を可能にするアクセス拠点としての機能が必要です。

<機能例>

○「場の力」となる地域資源の情報発信機能

- ・地域の起点である東静岡駅から「富士山」を眺望できる展望デッキ
- ・文化・芸術・スポーツ施設への案内機能
- ・情報の多言語表記、W i - F i 環境の整備

○アクセス拠点としての機能

- ・円滑なアクセスを可能とする公共交通機関等の結節点としての機能
- ・グランシップや、文化・スポーツの核施設利用者の駐車や、周辺施設へのパークアンドライドでの移動を可能とする駐車場の確保
- ・東静岡駅と周辺とを繋ぐ「水と緑」に彩られた遊歩道等

③文化・芸術、スポーツに触れ・楽しみ・親しむ場

<ポイント>

○高いレベルの文化・芸術、スポーツに触れ、楽しみ、親しむ場

- ・本物の文化・芸術、スポーツは生涯を通じて豊かな感性や創造性を高めるとともに、まちに賑わいを創出します。
- ・本物の文化・芸術、スポーツに触れ、楽しみ、親しむ場の機能が必要です。

<機能例>

- ・ 東静岡駅から文化・スポーツの核施設への安全かつ円滑なアクセス動線
- ・ 花やストリートファニチャー等による気持ちを高揚させる空間の演出
- ・ 沿道に店舗が並ぶなど賑わいが溢れる歩行者空間
- ・ 回遊性のある歩行者空間のネットワーク
- ・ 歴史・文化に思いをはせる古代東海道を活用したオープンスペース
- ・ 「文化とスポーツの殿堂」で展開されるイベント等の情報発信機能
- ・ 文化・スポーツ関連の物販機能等

④文化・芸術、スポーツを通じて多彩なふれあいを生み出す場

<ポイント>

○文化・芸術、スポーツの鑑賞、観劇、観戦、創作活動等を通じたふれあい

- ・ 文化・芸術、スポーツは、若者をはじめとする多彩な人々のふれあいを創出します。鑑賞・観劇・観戦及び創作活動を通して、様々な人々が出会い、交流を深める場としての機能が必要です。

<機能例>

- ・ 駅南北を密接に結び、人々の交流を促すペDESTリアンデッキ
- ・ 文化・スポーツを実践し発信できるオープンギャラリーや広場等
- ・ 集い、交わることができる交流スペースやオープンカフェ、バー等

(2)統一感あるデザイン、景観の形成

①富士山の眺望への配慮

<ポイント>

- 眺望に配慮した建築物の形態等
- 眺望場所の確保
- 眺望の「借景」としての活用

○富士山の眺望に配慮した建築物の形態等

- ・ 主要な眺望地点から富士山の眺望を阻害することがないように、東静岡駅南口及び北口に整備する「文化とスポーツの殿堂」は、建築物の配置に留意する必要があります。
- ・ また、建築物の高さについても、グランシップの高さ以下に抑制するなど、建築物の形態等には、富士山の眺望への配慮が必要です。
- ・ さらに、東静岡駅周辺の官民一体となった美しい「面」としての景観形成を推進するため、景観法による規制など、効果的な手法の活用について検討する必要があります。

○富士山の眺望場所の確保

- ・ 玄関口となる「文化とスポーツの殿堂」から富士山の眺望を楽しむ環境を整備するため、ペDESTリアンデッキや「文化とスポーツの殿堂」の敷地内に眺望場所を確保し、「富士見」の場とすることが重要です。
- ・ 「富士見」の場には、日本平と調和する緑の植栽やベンチ等を配し、快適に眺望が楽しめるよう配慮する必要があります。

○富士山の眺望の「借景」としての活用

- ・ 「文化とスポーツの殿堂」には富士山の眺望を借景とし、富士山の美しさ、崇高さ、雄大さを取り込んだ東静岡駅周辺の範となる景観を形成することが重要です。
- ・ 富士山を借景とすることで、「文化とスポーツの殿堂」が富士山をアイデンティティの源とする当地域の玄関口であることを明確に示すことが必要です。東静岡駅南口に整備を見込む「文化力の拠点」は、ゲートを通して美しい富士山を眺望することができる印象的なデザインを盛り込むことも考えられます。

②美しい景観のまちづくり

<ポイント>

- 新幹線からの視線を意識した景観形成
- 駅南北をつなぐ景観軸の形成
- うるおいある景観の形成
- 印象的で風格のある夜間景観の演出

○新幹線からの視線を意識した景観形成

- ・東静岡駅の南北に跨って形成される「文化とスポーツの殿堂」は、新幹線の車窓から眺められる対象となります。新幹線の乗客を惹きつける美しくメッセージ性を持った景観形成が必要です。
- ・「文化とスポーツの殿堂」として、県都静岡の新しい都市拠点にふさわしい、美しく風格あるシンボリックな建築形態とする必要があります。

○駅南北をつなぐ景観軸の形成

- ・東静岡駅の自由通路やペDESTリアンデッキを活用して、多くの人が行き交う駅南北が調和した景観軸を形成することが重要です。
- ・「文化とスポーツの殿堂」の玄関口として、ストリートファニチャーやモニュメント、サイン等の設置により、賑わいを演出する景観を創出することが有効です。

○うるおいある景観の形成

- ・緑地や街路樹等は、まちの景観にうるおいを与えます。
- ・道路、公園内での緑化、建築敷地内での植栽や屋上緑化、壁面緑化など、官民が一致協力して取り組む必要があります。

○印象的で風格のある夜間景観の演出

- ・夜間でも訪れる人々が楽しめる魅力溢れるまちづくりを進めることが重要です。建築物のライトアップやイルミネーション、静岡の歴史や文化を発信するプロジェクションマッピング、歩行者空間の照明等による印象的で風格のある夜間景観を演出し、「文化とスポーツの殿堂」のイメージアップを図ることが有効です。

③「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいまちづくりの統一感あるデザインの形成

<ポイント>

○「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいデザイン、景観を一体的にコーディネート

○背景となる丘陵の緑に映える建築形態

○新都市にふさわしい光、水、花、緑溢れるオープンスペース

○親近感あるデザイン

○「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいデザイン、景観を一体的にコーディネート

- ・ 駅南北に跨る「文化とスポーツの殿堂」は、グランシップとの調和を図りながら、統一感があるデザインとすることが重要です。
- ・ 「文化とスポーツの殿堂」は、富士山の借景と調和する色彩とすることが重要です。
- ・ 案内サインや屋外広告物は、分かりやすくまとまりのあるデザイン・色彩とし、全体として調和が図られた景観を形成することが必要です。

○背景となる丘陵の緑に映える建築形態

- ・ 「文化とスポーツの拠点」は、有度山や谷津山の丘陵の緑を背景として、美しいランドマークとなる形態であることが求められます。

○新都市にふさわしい光、水、花、緑溢れるオープンスペース

- ・ 屋外イベントにも活用可能な、人々が日常的に集い、賑わい、憩う開放感あるオープンスペースを確保することが重要です。
- ・ 古代東海道を活用した水や緑が溢れるオープンスペース、光と風を感じるペDESTリアンデッキ、四季の花々で彩る芝生広場等を確保することが重要です。

○親近感あるデザイン

- ・ 歩行者等に圧迫感を与えない建築物の壁面高、建築物の壁面及びペDESTリアンデッキの路面などのデザインや素材に親しみが感じられる配慮が必要です。
- ・ 広場やペDESTリアンデッキは、ベンチや屋外彫刻、モニュメントの設置などにより、親しみのあるデザインとすることが重要です。

東静岡駅周辺のまちづくりのあり方（イメージ）

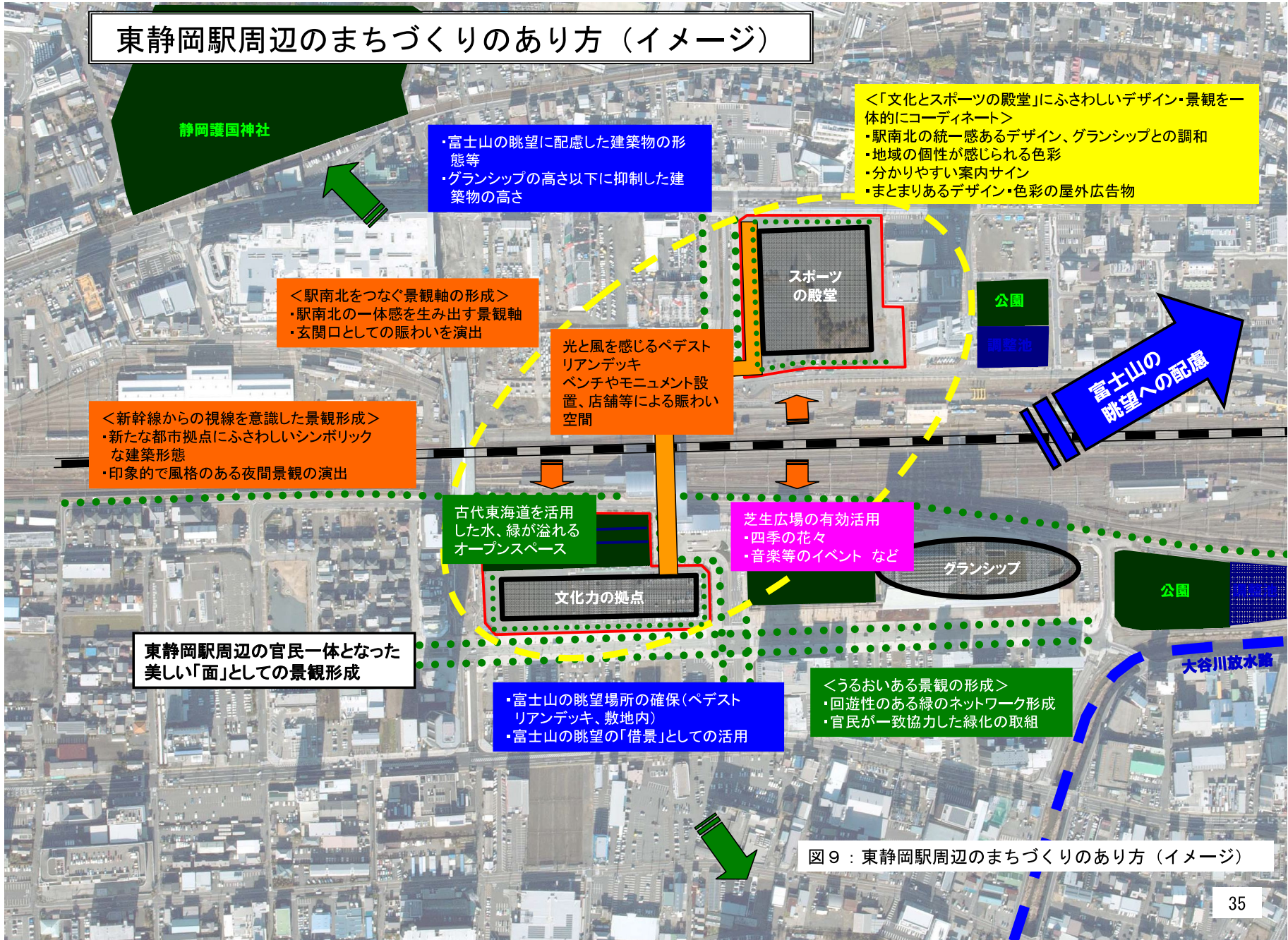


図9：東静岡駅周辺のまちづくりのあり方（イメージ）

第3章 東静岡駅南口県有地に整備を見込む「文化力の拠点」の コンセプトや導入すべき機能等

1 目指す姿

**世界の宝「富士山」をはじめとする数々の世界水準の魅力を生み出し
てきた本県の高い文化力を国内外に発信し、人々を惹きつける拠点**

東静岡駅南口県有地に整備を見込む「文化力の拠点」は、世界の宝「富士山」をアイデンティティの源とした一体性のある地域の起点となります。

地域の中心である日本平山頂と呼応して、富士山をはじめとする数々の世界水準の魅力を生み出してきた本県の高い文化力を、国内外に発信し、人々を惹きつけ憧れを呼ぶ、魅力溢れる拠点を形成することが必要です。

2 取組の視点

(1)「文化力」を通じて、世界から人々を呼び込む視点

- ・世界水準の魅力を育んできた本県の高い「文化力」を活かし、世界から人々を呼び込み、多様な交流や賑わいを生み出す「場」とする視点が重要です。

(2)大都市にはない静岡らしさ、個性・特徴ある発想

- ・東京一極集中を打破し、「ポスト東京時代の日本の理想郷」を実現するためには、“ふじのくに”の「場の力」を最大限発揮し、大都市にはない静岡らしさ、本県の個性・特徴を活かす新たな発想で取り組む視点が重要です。

(3)あらゆる人に向けて本県の「文化力」の高さを発信する視点

- ・世代や国境を超え、本県の文化力の高さを発信することにより、あらゆる人々が集い、生涯を通して学び、お互いを高めながら新たな価値を創造する「場」とする視点が重要です。

3 コンセプト

| |
|---|
| <p>(1)創造・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある文化の創造 ・国内外への文化の発信 ・地域の伝統・生活文化の継承 <p>(2)学ぶ・人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化を担う人材の育成 ・“ふじのくに” ならではの学びの提供 <p>(3)出会い・交わる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域外交による国際化の推進 ・多彩な文化活動と交流の拡大 ・文化・芸術の香り高く、若者が集う魅力ある空間 |
|---|

4 「文化力の拠点」に導入すべき機能

(1)創造・発信

①個性ある文化を創造し、発信することで、本県の「文化力」をより一層磨き高め、国内外に向けて「文化力」の高さを発信する拠点機能

| 機能例 | 活用イメージ |
|---|-----------------------------------|
| 世界遺産富士山とのつながりが強い、日本平や三保松原の歴史的、文化的価値の発信、適切な保存管理の必要性等の理解を促進する機能 | ・富士山世界遺産センターや日本平山頂シンボル施設等のサテライト施設 |
| 「食」、「茶」、「花」などの本県を代表する地域資源を磨き高め、独自の文化を創造し、国内外に情報発信する機能 | ・「食の都」、「茶の都」、「花の都」の発信拠点 |
| 伝統食や伝統芸能、伝統工芸など、多様な地域の魅力を発掘・継承し、情報発信する機能 | ・多様な地域文化の発信拠点 |
| ムセイオン静岡などの文化施設相互間の連携促進や、県内の文化施設の連携・交流を促進する機能 | ・施設間連携のセンター機能 |
| アニメ、コンテンツ等を活用した新たな文化の創造や情報発信を通じ、静岡に人を呼び込み、地域経済を活性化する機能 | ・アトリエ ・スタジオ ・メディア芸術総合センター |

②日本一を誇る恵み（食文化、農業、林業、水産業）の豊かさ、世界水準の文化や自然の美しさを実感できる機能

| 機能例 | 活用イメージ |
|--|---|
| 静岡の豊かな恵みが集積し、多彩で質の高い食材を味わい、求めることができる機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・県産食材によるフードコート ・農芸品のマーケット |
| 静岡が誇る「食」、「茶」、「花」など農林水産資源の魅力を発信する機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業の産業展示施設 ・静岡の食文化の展示施設 |
| 静岡の「和の食」の新しい素材や料理などを堪能できる機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・「食の都仕事人」のレストラン街 |
| 静岡の世界水準の魅力に触れられる機能（富士山世界遺産、ユネスコエコパークの南アルプス、世界農業遺産の茶草場農法、世界ジオパークネットワーク加盟を目指す伊豆半島、世界文化遺産登録を目指す韮山反射炉）、静岡観光のゲートウェイ機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界水準の魅力の発信 |

(2)学ぶ・人づくり

①次代の静岡を担う学生をはじめとした若者が集い、郷土愛を持って、地域に根差した活動や、静岡ならではの学びができる機能

| 機能例 | 活用イメージ |
|--|---|
| ふじのくに地域・大学コンソーシアムを中心とした地域人材の育成や、大学間、大学と地域社会との連携を促進する機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学コンソーシアムの拠点機能（講座室、多目的ホール等） ・大学コンソーシアムにSNS等を活用し広くアプローチできる情報通信機能 |
| 静岡ならではの「学」を創出し、究め、他の地域にない魅力ある学びを展開する機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災先進県としての地震防災の歴史や知見の情報発信機能 ・「和の食」文化を学び、研究等を行う施設 ・多彩な食材と健康寿命日本一を背景に、「食」、「健康」、「運動」について総合的に学び研究する施設 ・世界の名山、徳川文明など、世界レベルの歴史、文化等に関する専門的な研究センター ・本県ならではの文化・学びに根差した民間の研究・業務オフィス |

②世代を超えて集い、生涯を通して、学び、楽しみ、自らを高めることができる機能

| 機能例 | 活用イメージ |
|-----------------------------|--|
| 生涯学習のニーズに応える「知」の拠点機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・美術館 ・博物館 ・図書館（情報図書館） ・多目的ホール ・スタジオ など |
| 子供を応援して、将来を担う感性豊かな人材育成を担う機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供館 |

③歴史の観点から静岡を学べる機能

| 機能例 | 活用イメージ |
|---|---|
| 県内の貴重な歴史的資料等を収集・保管・公開することを通して、歴史の観点から静岡を学び、再発見できる展示機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化情報センター |
| 東静岡駅南口を通過していた古代東海道の遺構を活かした展示機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・古代東海道を活用した広場 |

(3)出会い・交わる

①東静岡から日本平、三保松原に広がる地域の玄関口にふさわしい交流の核となる機能

| 機能例 | 活用イメージ |
|---|---|
| 静岡のMICE受入環境の補完・充実を図る機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・展示スペース ・展望ルーム ・多様な形態の宿泊施設 ・レストラン・バー |
| 多彩な文化活動やイベント等を通じて、人々が出会い・交流を深めることができる機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・カフェテリア ・フードコート ・ミュージアムショップ |
| 人と人との共感を深める文化・芸術の香る魅力ある空間 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント広場 ・魅力ある散策路 |

②留学生支援により海外との多彩な出会い・交流を生み出すとともに、産業面からも海外とのつながりを深める機能

| 機能例 | 活用イメージ |
|---|---|
| ふじのくに地域・大学コンソーシアムが主体となって、留学生を支援する機能や多文化共生の拠点を形成する機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・留学生交流会館 ・留学生短期滞在施設 ・茶室等日本の伝統文化に触れる空間 |
| 海外のビジネスパーソンの招致、産業のグローバル化を支え、国際交流を促進する機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流支援センター |

③人と人とのふれあいが将来の暮らしに明るい展望を生み出す場としての機能

| 機能例 | 活用イメージ |
|--|---|
| 母親が静岡で子供を産み、育てたい気持ちにさせる機能、母親同士が語り、交流を深めさせる機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・出産、子育てを支えるネットワークや施設 ・交流ホール ・カフェテリア |
| 若者同士が出会い、語り、ふれあいを生み出す機能、若者が自らの将来設計を描く機会を創出し、結婚、子育てに憧れを抱かせる機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・エンゼルパワースポット ・ブライダルホール |